ゴーヘッズ 速報

第19号　平成23年7月23日

泉成長の証か一人マルチ！！

後１本が出ず、勝利を逃す・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
A	0	1	0	1	0	0	0	2
G	0	0	0	0	1	0	1	2

同点タイムリーを放った泉

同点タイムリーのきっかけの２ベース祐太朗

攻守に活躍哲也

先発深沢ゲーム壊さず

7/23（土）砧公園野球場に出向き、麻布ビーンズとのオープン戦をナイターで行った。久々のナイターであっただけに、照明が悪影響を及ばさなければ良いが、という思いで、ゲームは始まった。また、今日は投手の谷間という事で、今期初マウンドに上がった深沢がゲームを壊さないか？という事も一つの思いとして迎えた。その深沢の立ち上がり、１１球で三人を斬り、幸先の良い、スタートを切った。ゲームが動いたのは、２回の相手攻撃、先頭打者が２球目を中越の３ベースを放ち、無死３塁の失点シーンを迎える。後続は遊飛に捕り、１死３塁。続く打者が、２球目をピッチャー返しの打球を放ち、打球に反応したが、捕球出来ずに、先制点を許した。しかし、ここで女房役が、助けに入る。今日捕手に入った哲也が、２盗を刺し、塁上のランナーをクリアにした。安心したのか、後続に今日１個目の四球を許したが、続く打者は三振に斬り、最小の１点のみでこの回を終えた。大分疲れが見えた、４回の深沢のマウンド、先頭を四球で出塁、後続を二飛に討ち取り、１死一塁、しかし、またもよ、四球で出塁を許し、後続の初球にWPで１死２．３塁の場面に。ここで、右に犠飛を決められ、今日２点目を献上した。しかし、２点で抑え、マウンドを祐太朗に任せた。その祐太朗は、この回、３塁まで進塁を許すが、後続を抑え、３回のイニングを０点に抑えた。特に７回の守備では、内野陣がダブルプレーも決め、投手を守り立てた。さー、今日の打撃陣であるが、何と初回を除く毎回残塁と、後１本が出ず、勝利出来るゲームを落としてしまった。そんな中で、５回には、哲也が足で守備陣を掻き乱し１点。最終回には、先頭の祐太朗が、中越の２ベースで出塁、その後WPで三塁へ、後続は倒れるも、今日１安打を放っている泉が、２球目をセンターにきっちり運び同点とした。だが、後続が倒れ、時間切れの引き分けというゲーム結果になってしまった。今日のゲームを振り返ってみると、２つの要因が有るだろう。

１．三振の数も６個を喫したが、その中で目立ったのが、見逃三振の数の多さである。ビデオを見返したが、打者の外のストライクゾーンは、広かった。しかし、ジャッジは、選手が行うのではなく、審判員が裁くもの。追い込まれているのだから、やはり手を出さなければいけないであろう。

２．内外連携の拙さ

捕球したら、その先をどうするのか？カットに入ったプレーヤーは、正しくボールを呼び込んだか？３回ほど惜しいプレーがあっただけに、この辺は、進塁をさせない。失点を許さない、というプレーが、僅差のプレーには要求される。打線は水ものだけに、ここはきっちり守備を行えるかが、勝利への道だろう。

まだまだ暑い日が続くが、その癒しになるのが勝利！この勝利を目指してこれからも頑張ろう！！！